

2012 年度北海道大谷学園連合会高等学校相互評価
自己点検評価報告書

稚内大谷高等学校

I 建学の精神・教育理念、教育目標・学校目標

【建学の精神、教育理念について】

Q : I - 1 建学の精神・教育理念を記述し、その意味するところ及び建学の精神・教育理念が生まれた事情や背景をできるだけ簡潔に記述して下さい。

A : I - 1

学校創設以来『仏教の精神を基調とした全人教育を行い、世の光明となる人格を養成する』を建学の精神として、人間教育の基本理念としている。この建学の精神は宗祖親鸞聖人の、人が人間として生きる問いを学び、宗教教育、即ち尊い“いのち”を確認し、人が人間として生きる為の確かなる人間力を育むことを教育目標としている。

Q : I - 2 現在は建学の精神・教育理念をどのような形や方法で生徒や教職員に知らせているかを記述して下さい。

A : I - 2

学校要覧の冒頭に示され、また入学式での理事長・校長の告辞・式辞等において言及し、入学生・保護者・教職員に周知を図っている。生徒には生徒手帳や全校集会（原則毎週）等で知らしめている。

教職員には、年度当初に校長より校内研修で周知している。その他、学校案内や入学のしおり・広報誌・ホームページ等でも記述している。

【教育目標・学校目標について】

Q : I - 3 建学の精神や教育理念から導き出された、教育目標や学校目標を記述して下さい。

A : I - 3

※無量寿の尊い、いのちを理解し、一人ひとりを大切にし、個性を生かす教育。
(建学の精神)『仏教精神を基調とした全人教育を行い、世の光明となる人格を養成する』

(校訓) 報恩感謝 ありがとうございます。おかげさま
和顔愛語 にこやかな対応。おもいやりのあることば。
自己反省 静かに しかもするどく自分を反省する。
学行一体 知識と智慧を日常の行動に結びつける努力。

Q : I - 4 教育目標や学校目標を、現在はどのような方法で生徒や教職員に周知し、またどのような方法で学外に公表しているかを記述して下さい。

A : I - 4

体育館・職員玄関・職員室・応接室・教室に掲示の他、学校案内・入学のしおり・生徒手帳・ホームページ等にも掲載している。また、入試説明会・ロータリークラブ等の外部団体へのスピーチにも本校の教育目標等を伝えている。

生徒には、入学時のオリエンテーション、教職員には、校長より校内研修にて周知し、生徒・教科・クラブ活動の各指導等においても、建学の精神に基づく教育指導をしている。

【定期的な点検等について】

Q : I - 5 建学の精神や教育理念の解釈の見直し、教育目標や学校目標の点検が定期的に行われている場合はその概要を記述して下さい。また点検を行う組織、手続き等についても記述して下さい。

A : I - 5

現時点では、建学の精神・教育理念の見直しは考えていない。また、点検を行う組織は配置していない。建学の精神の具現をいかに組織でしっかり取り組むかを教職員と確認している。

Q : I - 6 建学の精神や教育理念の解釈の見直し、教育目標や学校目標の点検及びそれらを生徒や教職員に周知する施策等の実施について、理事会または職員会議がどのように関与しているかを記述して下さい。

A : I - 6

職員会議（校内研修会含）にて、建学の精神の具現化に向けて確認する。理事会においては、それらの教育結果を報告し評価をいただいている。

更に、学校評価委員会の評価結果も報告している。

【特記事項について】

Q : I - 特 この《I 建学の精神・教育理念、教育目標・学校目標》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、建学の精神・教育理念、教育目標・学校目標について努力していることがあれば記述して下さい。また高等学校で独自の使い方や別の語句を使っている場合はその旨記述して下さい。

A : I - 特

特になし。

《添付書類》A : 平成 23 年度校内研修資料（建学の精神・教育理念、教育目標・学校目標）・
その他関係書類

Ⅱ 分掌

【教育課程・学習指導（教務）】

Q：Ⅱ－1 シラバスを作成し、それが実行されているか記述して下さい。

A：Ⅱ－1

各教科で年間指導計画・月間指導計画を作成し、それに添った指導を展開している。

Q：Ⅱ－2 当該教育課程を履修することによって取得が可能な免許・資格を示して下さい。

A：Ⅱ－2

教科・家庭科 科目・生活福祉介護技術において2年時選択履修した生徒に北海道介護員養成研修2級課程修了証明書が交付される。

Q：Ⅱ－3 教育課程に関係なく免許・資格等を取得する機会を設けている場合は、その免許資格名とどのような履修方法であるかを記述して下さい。

A：Ⅱ－3

放課後の講座を設けて、簿記検定、日本語ワープロ検定、情報処理技能検定、パソコンハイスピード検定、日本漢字能力検定、実用英語技能検定、数学検定、危険物取扱者資格検定の資格取得能力を養成している。

Q：Ⅱ－4 定期考査の結果をもとに、適切な教科指導がどのように行われているか記述して下さい。

A：Ⅱ－4

国語、数学、英語においては、習熟度授業を展開し、定期考査等の結果をもとにクラスを再編成するなどして、学力向上に努めている。

Q：Ⅱ－5 生徒の学習状況や評価方法などが、わかりやすく生徒や保護者に説明されているか記述して下さい。

A：Ⅱ－5

学習状況においては、年4回の定期考査毎に、学級担任より成績送付を行っている。また、学級懇談や個別対応を行う場合もある。

入学前の保護者説明会において、教育課程表や評価方法について保護者に説明している。また、入学時のオリエンテーションで評価方法を生徒に、説明している。

Q：Ⅱ－6 総合的な学習の時間が有効に利用されているかを記述して下さい。

A：Ⅱ－6

進路指導（キャリア教育等）、職場体験（インターシップ）の他、学校行事のボランティア活動を通して多様な活動を全校をあげて取り組んでいる。

Q : II - 7 生徒による授業評価を行っている場合はその概要を記述して下さい。行っていない場合にはその事由等を記述して下さい。

A : II - 7

年度末に実施している。(生徒の視点に立った授業アンケート参照)

Q : II - 8 高等学校全体の授業改善への組織的な取り組み状況について記述して下さい。

A : II - 8

生徒、保護者の授業アンケート結果をもとに、各教科で分析し、次年度への授業改善に取り組んでいる。

Q : II - 9 過去3ヵ年の退学、休学、留年、転学等の数を、次の表を例にして記載して下さい。

A : II - 9

区分	H21年度	H22年度	H23年度	備考
1年生 在籍数 (5/1)	68名	62名	75名	
内、退学者数	3名	3名	3名	
内、休学者数	0名	0名	0名	
内、退学者数	0名	0名	0名	
内、転学者数	2名	1名	0名	
内、留年者数	1名	0名	0名	
年度末在籍数	63名	58名	72名	
2年生 在籍数 (5/1)	62名	62名	58名	
内、退学者数	4名	1名	4名	
内、休学者数	0名	0名	0名	
内、退学者数	0名	0名	0名	
内、転学者数	1名	0名	0名	H23 転入 1名
内、留年者数	0名	0名	0名	
年度末在籍数	57名	61名	55名	
3年生 在籍数 (5/1)	54名	58名	61名	
内、退学者数	0名	1名	1名	
内、休学者数	0名	0名	0名	
内、退学者数	0名	0名	0名	
内、転学者数	2名	0名	0名	
内、留年者数	0名	0名	0名	
年度末在籍数	52名	57名	60名	

Q : II - 10 退学者の退学理由割合、退学理由の最近の傾向及び退学者、休学者、転学者及び留年者に対する指導（ケア）の現状について記述して下さい。

A : II - 10

退学者が就学意欲を回復した時は、通信教育を含めて教育相談に応じている。人間関係の構築の乏しさ、無気力からくる長欠が主である。担任はもとより、学年、生活指導部、学校（教頭）と連携を取りながら改善に努めている。

平成23年度退学者内訳（8名）

進路変更 6名 学校生活・学業不適応 1名 病気 1名

【生徒指導・部活動（生徒指導・生徒会）】

Q : II - 11 生徒指導の年間指導計画が作成されているか、作成されている場合は概要を記述して下さい。

A : II - 11

生活指導三訓「1. 挨拶の励行 2. 時間の厳守 3. 服装の徹底」を中心に生活指導目標を掲げている。

また、年間指導計画については服装指導の計画、指導部通信（菩提樹）発行計画、校内外の巡視計画を中心に月別に記載している。

委細別紙参照（生徒指導年間計画・菩提樹）

Q : II - 12 家庭と連携しながら、基本的な生活習慣の定着を目指した生活指導がどのように行われているかを記述して下さい。

A : II - 12

各クラスの保護者にモニターを担ってもらっている。モニター会議においては家庭・地域から見た大谷高校の生徒の現状を報告していただき、学校からは目の届かない情報を収集したり、学校と家庭が連携して生徒の指導に活かしている。

Q : II - 13 服装や身だしなみ、マナーなどの指導がどのように行われているのか記述して下さい。

A : II - 13

朝礼終了後の服装指導を実施している。又、日頃の声かけ指導にて服装の着こなしや、挨拶指導を徹底している。また、年間指導計画にも記載されている外部による制服の着こなしセミナーや、コート指導等で全体的な指導も行っている。

Q : II - 14 問題行動の未然防止に関する取り組みがどのように行われているのかを記述して下さい。

A : II - 14

クラス、クラブにおいてもそれぞれの生徒の状況を把握し声かけ指導をしている。また、生徒数が少人数と言うこともあり、各教科の担当生徒の様子をおさえた上でクラス担任、クラブ顧問、管理職とも連携を取り合い小さなシグナルを見逃さないよう指導している。

Q : II - 15 クラブ活動の現状、生徒会の現状、学校行事（学校祭等）の実施の状況を、その指導体制及び生徒の活動状況を含めて記述して下さい。

A : II - 15

クラブ活動については約 65%の生徒が各クラブに所属している。生徒会執行部を構成するメンバーにもクラブ生が積極的に参加している。学校祭はクラブの大会等に重なると、クラスの生徒が少なくなったりする現状があるので大会時期とずらして実施した。その甲斐もありクラブと学校行事の両立を図れた。

【進路指導】

Q : II - 16 年間指導計画に基づく進路指導が、どのように行われているかを記述して下さい。

A : II - 16

前年 12 月に作成する年間行事予定表の中に組み入れ、各学年の進路ガイダンスや進路指導講話、進路オリエンテーションなどハローワークやリクルート等の外部と連携をとりながら進めている。
具体的な計画については別紙参照。（平成 23 年度進路指導に対する資料）

Q : II - 17 卒業後の進路への関心を高める計画的な取り組みが、どのように行われているのかを記述して下さい。

A : II - 17

1 年生では進路を考えるに当たり、一番大事な時期は入学直後である。進路が漠然としている者についても、これからの 3 年間で如何に過ごすかという指針を示す事が大切なので、オリエンテーションでしっかり説明し、職業適性検査やキャリア指導を行っている。

2 年生では 3 日間のインターンシップがあり、職場体験を通して職業観を養う。また、依頼状の作成や礼状の作成などは公的な文書作成の学習にもなる。さらにこの報告会も実施している。

3 年生では具体的な志望理由書の書き方や面接の練習、求人票の見方や、履歴書の書き方など、進学受験や就職採用試験に向けた実質的な活動がなされた。

<p>Q : II - 18 卒業後の進路に関する情報提供や保護者との懇談が、どのように行われているのかを記述して下さい。</p>
<p>A : II - 18</p> <p>1 年生は 2 年次のコース選択の折に担任との面談があり、進路希望調査の際には保護者の意見を記入してもらう。</p> <p>2 年生では、担任との面談で、より具体的な内容であった。</p> <p>3 年生では進路懇談会で保護者に進路に関する情報や昨年までの実績を説明し、担任との面談を行う。その後三者面談となり、夏休み前には具体的な進路先が見えた。</p>
<p>【保健管理・安全管理・個人情報管理】</p> <p>Q : II - 19 事故や問題が生じた場合の保護者への説明や対応が、どのように行われているのか記述して下さい。</p>
<p>A : II - 19</p> <p>事故の場合、危機管理マニュアル（別紙）により対応している。</p>
<p>Q : II - 20 生徒や保護者の個人情報の取り扱いについて記述して下さい。</p>
<p>A : II - 20</p> <p>個人情報の保護に関する規程（別紙）に基づき、取り扱い等を行っている。生徒管理データ、学事報告・卒業アルバムの記載、PTA 会報・広報誌・新聞等の掲載、校内における氏名の掲示等は入学時に同意書をお願いし、了承を得ている。</p> <p>その他、個人情報の取り扱いで承認が必要な場合は、その都度同意書をお願いし、了承を得ている。</p>
<p>Q : II - 21 教室や校舎内外の美化・清掃活動がどのように行われているのか記述して下さい。</p>
<p>A : II - 21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各クラス教室の他、特別教室・廊下・トイレ・体育館を分担し、担当教諭の指導のもと実施し、美化・清掃活動を行っている。また、通常行ききれない区域については、大掃除の時に実施している。（別紙参照） ・年 3 回生徒会学年ボランティア活動にて、学校敷地内及び、学校周辺地域の清掃活動実施している。 <p>（平成 23 年度学校保健安全計画、ボランティア活動実施要項参照）</p>
<p>Q : II - 22 健康・安全に留意した生活を送れるような指導がどのように行われているのか記述して下さい。</p>

A : II - 22

別紙、年間保健安全計画に則り、生徒・教職員の健康安全が図られるよう指導を行っている。

Q : II - 23 災害対策、防犯対策に関する取り組みがどのように行われているか記述して下さい。

A : II - 23

別紙危機管理マニュアルに基づき、不審者侵入発見時対応を作成し、生徒の安全優先化と教員の安全を図っている。

火災発生時対応マニュアルに基づき、自衛消防活動の流れを作成し、さらに年1回の避難訓練を実施し、対応している。

また、来校者名簿を作成し、来訪者のチェックを行うとともに、生徒玄関等は施錠し、不審者等の侵入等を防止している。

【入試・生徒募集】

Q : II - 24 入学選抜の方針、選抜方法をどのような方法、手段で明示しているかその概要を簡潔に記述して下さい。

A : II - 24

理事会で議決された奨学生給付規程に基づき、校長の指示のもと、入試係を中心に別紙入学生募集要項、奨学生出願資格及び給付等を作成する。

Q : II - 25 広報及び生徒募集についての体制の概要を記述して下さい。

A : II - 25

7月より管内各中学校に入試係が募集要項、学校案内を持参し、説明を行う。9月末には5日間（月～金）学校開放見学会を開催し、管内各中学校3年生にオリエンテーション及び授業見学、施設見学等を行い、募集に繋げる努力をしている。

各中学校に奨学生出願候補者の推薦を促す文章を送付し、各クラブ顧問が後に中学校と保護者生徒に説明をしている。

市内中学校の本校受験希望保護者に対して就学支援金、本校奨学生制度等について説明会を実施し、生徒確保を目指している。

【特別支援教育】

Q : II - 26 特別支援教育への取り組み・考え方を記述して下さい。

A : II - 26

特別支援を要する生徒については、現在の本校の教員体制、設備等が十分とは云えず、受け入れることに難しさがあるが、今後の検討課題である。

【地域活動】

Q : II - 27 校内の様子（学校や部活動、行事など）を家庭にどのように伝えているか記述して下さい。

A : II - 27

庶務部の発行する「PTA 活動便り」、「PTA 会報」、生活指導部の発行する「菩提樹」、広報誌担当の発行する「想望」により学校の様子等を各家庭に伝えている。また、授業参観や宗教行事（花まつり、報恩講）は各家庭に参加の案内をしている。尚、年間行事予定表は4月に各家庭に配布している。
別紙参照（地域広報活動資料）

Q : II - 28 地域などに対して、学校の様子をどのように伝えているか記述して下さい。

A : II - 28

定期的に発行している学校の広報誌「想望」は真宗大谷派第14組組会にて配布している。その他、稚内市内及び近郊寺院に依頼し檀家にも配布している。地域には「想望」「PTA 活動便り」を通じて、学校行事や部活動の成績、各種検定の取得状況などを知らせている。
また、地元新聞社に取材を依頼し、広報に努めている。

Q : II - 29 PTA の活動について保護者にどのように情報を伝えているか記述して下さい。

A : II - 29

「PTA 会報」や定期的に発行している「PTA 活動便り」などを通じて、学校行事やPTA 活動の様子などを知らせている。

Q : II - 30 過去3ヵ年（H21年度～H23年度）の生徒による地域活動、地域貢献あるいはボランティア活動等社会的活動の状況を記述して下さい。

A : II - 30

野球部、バスケット部の独居老人除雪ボランティアをはじめ、地域に密接に関わりを持てるような活動を行っている。（別紙参照）

Q : II - 31 高等学校では生徒の地域活動、地域貢献あるいはボランティア活動等についてどのように考え、どのように評価しているか記述して下さい。

A : II - 31

本校は市民立的学園をめざしており、地域活動に重点を置いている。
土曜日を有効に活用し、学年・クラスだけではなく、クラブでのボランティア活動を行うことで、地域と密接な関わりを持ち、開かれた学校作りを行っている。

【図書館等】

Q：Ⅱ－32 図書館等の概要について、全体の配置図、蔵書数、学術雑誌数、AV資料数、座席数、年間図書予算、購入図書選定システム、図書等廃棄システム、司書又は司書教諭の人数、情報化の進捗状況等を含めて記述して下さい。

A：Ⅱ－32 配置図



蔵書数 10000 冊（概数）、学術雑誌配架なし、AV 資料なし、座席数 20 脚、年間図書予算 25 万円、購入図書選定システム特になし、図書等廃棄システム特になし、司書又は司書教諭の人数 0 名、情報化の進捗度 図書分類のデータ化は全体の 10% ほど進行。

司書教諭はいないので、教務部から図書館担当者を設定している。しかし、集中的に図書室に入って図書整理などを行うことが出来ない状態にある。図書室については毎日昼休み（12:40～13:20）に開放している。その他の時間では基本的に開放していない。

（別紙 図書館及び図書利用上の心得参照）

【特記事項について】

Q：Ⅱ－特 この《Ⅱ分掌》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、分掌について努力していることがあれば記述して下さい。

A：Ⅱ－特

特になし。

《添付書類》B：生徒に配布している教務に関する印刷物・シラバス・授業改善に関する資料・その他関係書類

《添付書類》C：生徒指導に関する印刷物・クラブ活動一覧表・その他関係書類

《添付書類》D：進路の実績（平成 21 年度～平成 23 年度）についての印刷物・その他関係書類

《添付書類》E：保健管理・安全管理・個人情報管理に関する書類

《添付書類》F：入試要項・学校パンフレット

《添付書類》H：図書館等の規程

《添付書類》G：地域活動に関する書類

Ⅲ 管理運営（ガバナンスの確立）

Q：Ⅲ－1 法人の運営について今後改善や変更をしたいと考えている事項があれば記述して下さい。また法人が抱えている問題あるいは課題について差し支えない範囲で記述して下さい。

A：Ⅲ－1

法人においては、現時点での改善や変更等及び問題はない。
課題として、校舎の老朽化から教育環境の改善が考えられる。

Q：Ⅲ－2 高等学校の運営全般について抱えている問題、あるいは課題について差し支えない範囲で記述して下さい。

A：Ⅲ－2

校舎の老朽化・耐震化に対応すべく改築・移転（稚内商工高等学校跡地）を含めて、方向性が現時点で結論が出ていない現状にある。
この問題は、今後の運営及び生徒募集にも大きく影響するものである。

Q：Ⅲ－3 高等学校の教育・運営上のトップである校長は、高等学校の教育活動全般について適切にリーダーシップを発揮しているか、また高等学校に係る教育・運営上の事項はどのような流れで決定し、その流れの中で校長はどのように関与しているかを、できれば校長自身が率直に現状を記述して下さい。

A：Ⅲ－3

理事長の指導のもと、教頭、事務長、平均年齢34歳という若き教師と連携しながら、半世紀にわたり、最北の地、稚内で私学教育を支えてきたものを今後更に積み上げ、稚内大谷存続の為に宗門立学園と稚内市民立的学園を認識し、確かな人間教育を展開する学園リーダーとしての自覚を強く持つことが私の責務と考える。私のリーダーシップについては、多くの方々の力をいただき支えてもらっているので、リーダーシップの発揮ぶりは私の知るところではない。
教育・運営上のことは、四部長会議・各分掌を経て職員会議で議論し校長が決定する。また、学園にとって決定せねばならない点においては、理事長と連携し、理事会に提案する。

【特記事項について】

Q：Ⅲ－特 この《Ⅲ管理運営》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、管理運営について努力していることがあれば記述して下さい。

A：Ⅲ－特

校舎の移転等を含め、教育環境の改善が今一番のエネルギーを投じているところである。

《添付書類》Ⅰ：管理運営に関する書類

IV 財務

Q : IV - 1 学校法人もしくは高等学校において「中・長期の財務計画」を策定している場合は、計画の名称、策定した経緯等を簡潔に記述して下さい。

A : IV - 1

毎年、5年先の稚内市内中卒者数の動向を把握し、入学生予想数を基に中期的经营計画を策定している。

Q : IV - 2 財務情報の公開をどのように実施しているのか記述して下さい。

A : IV - 2

本校ホームページに掲載

Q : IV - 3 教職員に対して自法人の財務状況を每期ごと十分に説明する機会を設けているか記述して下さい。

A : IV - 3

毎年5月、本校教職員が出席する評議員会で説明し、評議員から各教職員に説明している。(平成23年度計算書書類を全員に配布)

【特記事項について】

Q : IV - 特 この《IV財務》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、財務管理について努力していることがあれば記述して下さい。

A : IV - 特

小規模校であるため、財源が限られており、日頃から職員会議・朝礼時に教職員に無駄を省くように指導し経費節減に努めている。(特に光熱水費、消耗品費)また、一時借入金をしないように収支を見通し、次年度への繰越額の確保に努めている。

《添付書類》J: 財務に関する書類

V 改革・改善

Q : V - 1 自己点検・評価を高等学校の運営のなかでどのように位置づけているか、また自己点検・評価を実施するための組織、規程等の整備状況を記述して下さい。また今後、自己点検・評価をどのように実施しようと考えているのかについても記述して下さい。

A : V - 1

本校では以下に示す3つの評価制度をいずれも平成18年度より導入している。

1. 教員人事評価制度は、時代の変化に対応し、教育課題を解決して、教職員の資質・能力向上を図り、学校全体を活性化させ、教育力を高めることを目的としている。

各年度毎自己申告評価シートを提出し、それに基づいて3度個人面談を行っている。

2. 学校評価制度は、保護者・地域・学校が一体となった開かれた学校作り、特色ある学校作りの一層の推進、教職員の資質向上及び学校教育の活性化、さらに建学の精神や教育方針を基調に、教育活動の成果・向上を目的としている。外部評価者の外部評価シート、内部評価者の内部評価シートに基づく評価を得る。学校評価委員会を開き、意見交換を行い、上記目的達成を目指している。

3. 授業評価制度は、生徒・保護者の視点に立った授業改善を進めるとともに、生徒が自主的に授業に取り組もうとする姿勢を育み、生徒・保護者と教員の信頼を一層深め、教員の指導力の向上を図ることを目的としている。

今後も各評価制度の改革・改善を行い、目的達成のための充実を図る。

Q : V - 2 過去3ヶ年（平成21年度～平成23年度）の自己点検・評価報告書の発行状況を記述して下さい。またその報告書の配布先の概要を記述して下さい。

A : V - 2

学校ホームページにて学校評価、授業評価の結果を掲載し、PTA総会においてもその評価を報告している。

Q : V - 3 平成23年度までに行った自己点検・評価の活用についてその実績を記述して下さい。また今後、自己点検・評価の結果をどのように活用しようと考えているのかについても記述して下さい。

A : V - 3

本校では自己申告シート、学校評価（外部評価シート、内部評価シート）、授業アンケートの結果を参考に、授業改善計画等を作成するなどして、それぞれ次年度に向け改善を図っている。

【特記事項について】

Q：V－特 この《V改革・改善》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、改革・改善について努力していることがあれば記述して下さい。

A：V－特
特になし。

《添付書類》K：過去3ヶ年の自己点検・評価報告書・その他関係書類